

第１節 目的

下久保ダム周辺の地質調査のため、機械ボーリング及びボアホールカメラ調査を行うものである。

第２節 機械ボーリング（高品質ボーリング）【見積対象項目】

1. 地質調査用のボーリングは、高品質ボーリングによる削孔とし、ボーリング削孔径はφ86mmで行うものとする。
なお、高品質ボーリングとは、地盤に適した掘削流体（気泡、泥水材等）を使用し、地盤の乱れを少なくしてコアの採取率を高めた工法のことである。
2. 削孔に当たっては、原則として全コア採取するものとする。また、コアの破損を極力なくすよう努めるものとする。
3. ボーリング調査で利用する水は、循環利用するものとする。また、削孔に伴って発生する濁水に対して、沈砂池等の濁水対策を講じるものとする。
4. 貯水池内に油が流出しないように注意するとともに、作業期間中は吸着マット等を現場に常備するものとする。
5. ボーリングコアは、コア箱に整理し、指定する場所に収めるものとする。
6. コア箱は蓋が取り外せる抜差蝶番とし、取手があるものとする。

第３節 機械ボーリング（ノンコアボーリング）【見積対象項目】

1. 地下水位計の設置を目的として、ノンコアボーリングによる削孔を行うものとする。ボーリング削孔径はφ66mmとする。
2. ボーリング調査で利用する水は、循環利用するものとする。また、削孔に伴って発生する濁水に対して、沈砂池等の濁水対策を講じるものとする。
3. 貯水池内に油が流出しないように注意するとともに、作業期間中は吸着マット等を現場に常備するものとする。

第４節 ボアホールカメラ撮影【見積対象項目】

ボーリングを実施した孔壁の状態を確認するため、ボアホールカメラ撮影を実施する。
なお、撮影深度は0～30m、0～50m、0～100mを想定している。

第５節 ボアホールカメラ解析【見積対象項目】

ボアホールカメラ撮影で得られた孔壁画像を解析し、ボーリング孔における地層・断層・すべり面候補等の不連続面の走向・傾斜を明確にするため、不連続面解析図、不連続面ステレオネット図を作成するとともに、地質層序・地質構造検討に資する基礎データを整理する。

—以 上—